

集団がん検診のお知らせ

保健センター ☎ (93) 8300

集団がん検診は、あらかじめ決まった日に保健センターで行うがん検診です。希望される方は、保健センター窓口、もしくは電話でお申し込みください。

実施日	検診名	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん	前立腺がん	受付開始日
	一部負担金	800円	400円	600円	700円	400円	
	検診方法	バリウム	便潜血検査	マンモグラフィ	内診と細胞診	血液検査	
	対象者	40歳以上の方	40歳以上の方	*40歳以上の方	*20歳以上の方	50歳以上の方	4月9日(金)～
5月21日(金)	A◎	◎	◎	◎	◎		
6月15日(火)	B◎	◎	◎	◎	◎		
7月17日(土)	A◎	◎	◎	◎	◎	◎	

Aは男性優先、Bは女性優先で行います。

*乳がん検診・子宮頸がん検診については2年に1回の受診です。

令和3年度は奇数年(和暦)生まれの方が対象です。

(ただし、偶数年生まれの方で令和2年度未受診の方は受診できます。)

※扶桑町国民健康保険に加入している方は、一部負担金をお支払いの際に国民健康保険被保険者証を提示されると、無料で受診できます。

各種健康診断のお知らせ

保健センター ☎ (93) 8300

保健センターでは、左記のとおり検診を実施します。ご自身の健康チェックを1年に1回行いましょう。胸部レントゲン

事業名	対象者	日時	定員	一部負担金	受付開始日
胸部レントゲン (結核・肺がん検診)	40歳以上の方	6月24日(木) 午前9時～12時	600名 (先着順)	200円	4月9日(金)～
		6月25日(金) 午前9時～12時 午後1時～4時			
		6月26日(土) 午後1時～4時			
さわやか健診 (血液検査・身体計測等)	受診機会のない20～39歳の方	6月26日(土) 午前9時～11時	100名 (先着順)	1,000円	4月9日(金)～
骨検診	20歳以上の方	6月25日(金) 午後1時～4時	200名 (先着順)	400円	
		6月26日(土) 午後1時～4時			

成人男性を対象とした風しんの抗体検査・予防接種(風しんの追加的対策)について

保健センター ☎ (93) 8300

風しんの予防接種は、現在予防接種法に基づき公的に行われています。しかし公的な予防接種を受ける機会がなかった40歳代から50歳代の男性は、他の年代に比べると風しんの抗体を持つ人の割合が少ないため、令和4年2月までの期間に限り定期予防接種を実施します。しかし、この年代の人の中にも約8割の人は抗体をもっているため、まず抗体検査を実施し、抗体が少ない人のみ予防接種を実施します。風しんは成人が感染すると症状が重くなったり、妊娠初期の妊婦が感染した場合に胎児が風しんウイルスに感染して、「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれる確率が高くなります。風しんの感染防止や先天性風しん症候群の予防のために、抗体検査・予防接種が必要です。対象の方はぜひお受けください。

▼対象者 扶桑町に住居登録がある、昭和37年4月2日生まれから昭和54年4月1日生まれの男性で令和3年1月までに抗体検査及び予防接種(抗体が少ない人のみ)を実施していない人 ※対象者には無料で受けられるクーポン券を発行します。

クーポン券発送時期 4月上旬

※対象者の中で事務処理の都合上、2～4月に実施済の方にお送りする場合があります。ご理解いただきますようお願いいたします。

▼抗体検査・予防接種の流れ

- 1 扶桑町から無料クーポン券を受け取ります。
- 2 抗体検査実施医療機関で抗体検査を実施します。健診の機会を利用して実施することが可能な場合もあります。※受けられる際は、ご希望の医療機関やお勤め先にお問い合わせの上、実施してください。
- 3 抗体検査の結果を聞き、抗体が少ない場合は定期予防接種の対象となります。
- 4 予防接種実施医療機関に予約をし、予防接種を受けられます。

▼抗体検査・予防接種の際に必要なもの

- 1 扶桑町発行のクーポン券
- 2 本人確認資料
運転免許証、マイナンバーカード(個人番号カード)等
- 3 抗体検査で「予防接種が必要」と判断された結果表(予防接種を受けるときのみ)

▼実施医療機関 「風しんの追加的対策」に協力している医療機関であれば、全国どこでも受けることが可能です。

下記厚生労働省のホームページに可能な医療機関の一覧が掲載されていますのでご確認ください。

年長児のお子さんをもつ保護者の方へ

保健センター ☎ (93) 8300

1歳をすぎたころに麻しん風しん予防接種を行います。1回の接種では十分な免疫が得られないため、2回目の接種を行います。2回目の接種は、小学校就学前1年間(いわゆる年長児)に実施しています。麻しん(はしか)は、感染力が強く、命に関わる合併症を引き起こす病気です。また、風しんも同じく、重症化する場合があります。お子さんの健康をまもるために、ぜひ接種を受けましょう。

▼対象者 小学校就学前の年長児

▼実施期間 4月1日(木)から 令和4年3月31日(木)まで

※予防接種予診票は、「ひまわり」(予防接種予診票綴)に綴じ込みしてあります。紛失等で予診票がない方は、母子健康手帳を持って保健センターで交付の手続きをお願いします。

小学校4年生、6年生のお子さんをもつ保護者の方へ

保健センター ☎ (93) 8300

乳幼児期に第1期として予防接種を行ったものの中で、第2期の接種対象となっているものがあります。これらの予防接種は第1期から接種を重ねて免疫力を高めるものです。対象となる予防接種の予診票を順にお送りしますので、ご自宅に届きましたらぜひ接種を受けましょう。

▼予防接種の種類

【小学4年生】例年小学4年生に、日本脳炎第2期の予診票を送付していますが、令和3年度は日本脳炎ワクチン供給量の大幅な減少により、一度も接種していない方を優先します。そのため、第2期対象者である小学4年生には送付しません。令和4年4月ごろ送付予定です。

【小学6年生】二種(ジフテリア、破傷風)混合

▼発送時期 4月中旬～下旬

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jinyou/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html ※町ホームページからも確認できます。 ▼実施期間 令和3年4月～ 令和4年2月 ※令和元年～2年に送付したクーポン券は期限が切れています。新しいクーポン券が届かない場合は保健センターまでご連絡ください。 ▼費用 無料 (クーポン券持参に限ります。)

▼注意事項 扶桑町が発行したクーポン券は、ご利用の際に扶桑町から転出されていると使用できません。その際は転出先で再度発行してもらってください。

はちまるくんだより オーラル・フレイルって何?

犬山扶桑歯科医師会



最近テレビの健康番組で「フレイル」という言葉を耳にされたことありませんか? 「フレイル」とは日本語で「虚弱」という意味で、高齢になって心や体の活力(筋力や認知機能、社会とのつながりなど)が低

下した状態をいいます。筋力などの体の能力の低下よりも先に、口の機能が落ちるオーラル・フレイルから、体全体のフレイルが始まるといわれています。フレイル予防の3つの柱は、①栄養(食・口腔機能)、②身体活動(運動・社会活動)、③社会参加(就労・余暇活動・ボランティア)とされています。「①栄養」では、タンパク質を中心とした食事のバランスに気を付け、かかりつけの歯科医を持ち、定期的にお口の健康をチェックすることが大事とされています。「②身体活動」では、まず歩くことから始まる適度な運動を続けて行うことが大事です。そして心の活力を下げないように「③社会参加」では、友人や家族と一緒に食事をする、こと、前向きに町内活動、老人会などの社会参加を絶やさないことが大事です。

負の連鎖という言葉があります。マイナスに働くことが重なり合ってより悪い方向へ向かう事を言います。オーラル・フレイルに関しての負の連鎖は、うまく咬めない↓やわらかいものを食べ↓咬む働きの低下↓うまく咬めない↓やわらかいものを食べる↓咬む働きの低下↓のくり返しをいいます。「オーラル・フレイル」の予防のためには、①かかりつけの歯科医院を持ちましょう。②バランスの取れた食事をとりましょう。③口のささいな衰えに気を付けましょう。